# 京香 四つ目垣 ユニット型

## 取付説明書 ― 間仕切タイプ ―

●このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。

●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

| 安全に関する記号 | 記号の意味 |
|---|---|
| ⚠ 警 告 | ●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。 |
| ⚠ 注 意 | ●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。 |
| **一般情報に関する記号** | |
| 🔑ポイント | ●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。<br>●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。 |
| ※ | ●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。<br>●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。 |
| 補 足 | ●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。 |

### ＜施工の前に＞

**⚠ 警 告**

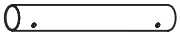
● フェンスは隣地境界を目的に設置するものです。防護柵や手すり等としては使用しないでください。

**⚠ 注 意**

● 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
● 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
● 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
● 柱とパネル本体の組付けは「京香 御簾垣・清水垣 ユニット型（C210）」の取付説明書と共通です。
● 梱包明細表の「取扱説明書」表記は「京香 御簾垣・清水垣 ユニット型（C210）」の取付説明書をご参照ください。
● 柱の施工方法は「京香 御簾垣・清水垣 ユニット型（C210）」の取付説明書をご参照ください。

## ■梱包明細書

1パネルセット

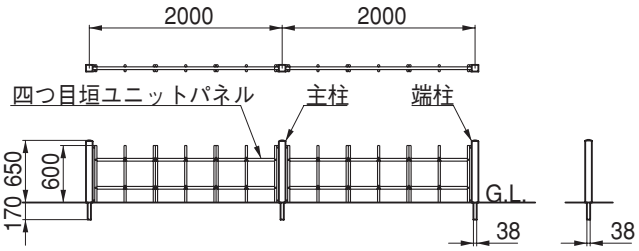
| 名　　称 | 略　図 | 員 数 |
|---|---|---|
| パネル本体 | | 1 |
| 立子パイプ |  | 4 |
| 取付説明書 | | 1 |

2立子キャップ オプション

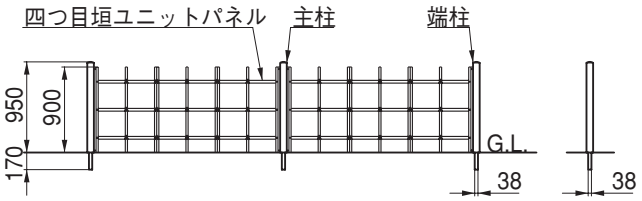
| 名　　称 | 略　図 | 員 数 |
|---|---|---|
| 立子キャップ | | 22 |

# 1.基本寸法と各部名称

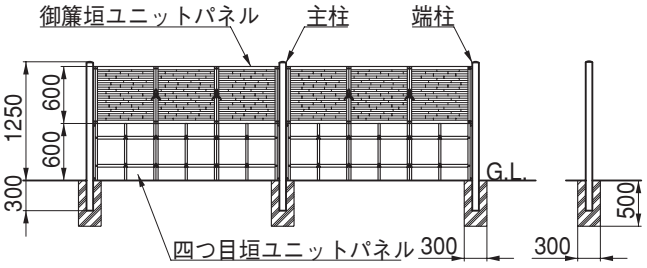
## 1-1 T−6サイズ



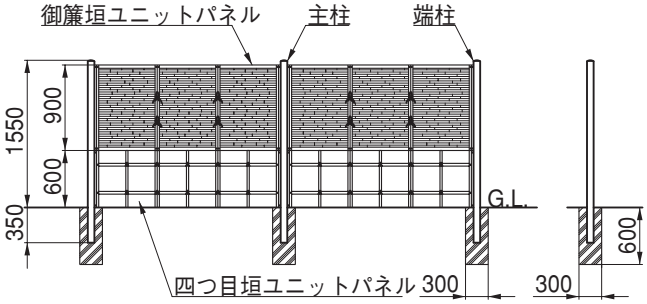

## 1-2 T−9サイズ



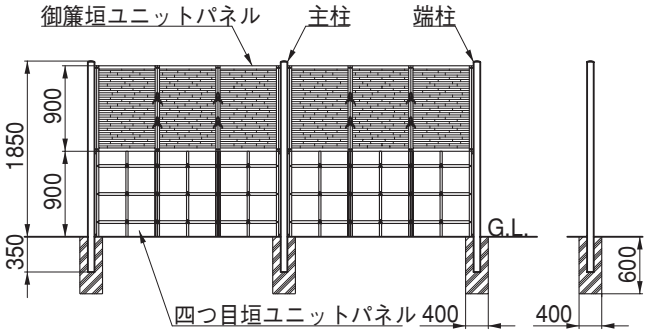

## 1-3 T−12サイズ




## 1-4 T−15サイズ




## 1-5 T−18サイズ




**⚠ 注 意**

- 施工時G.L.とパネル本体との隙間ができないように施工してください。指などが入るとケガの原因になります。

# 2.本体の切詰め

## 2-1 パネル本体の切断

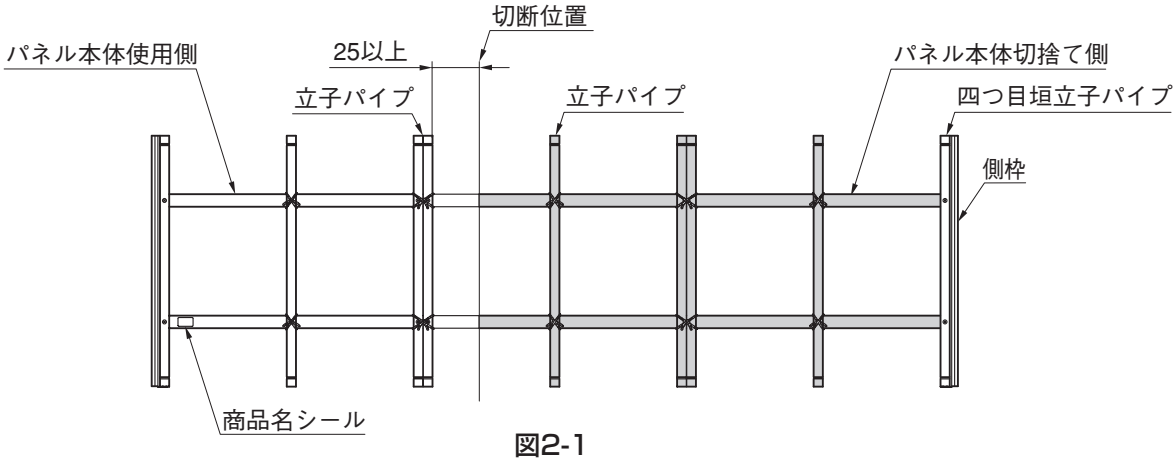



図2-1

❶パネル本体を切断位置で切断してください。（図2-1参照）

**ポイント**

- 切断前に商品名シールでパネル本体の上下を確認してください。
- 切断位置は、立子パイプから25mm以上離れた場所を切断してください。側枠が取付きません。

## 2-2 側枠の組付け

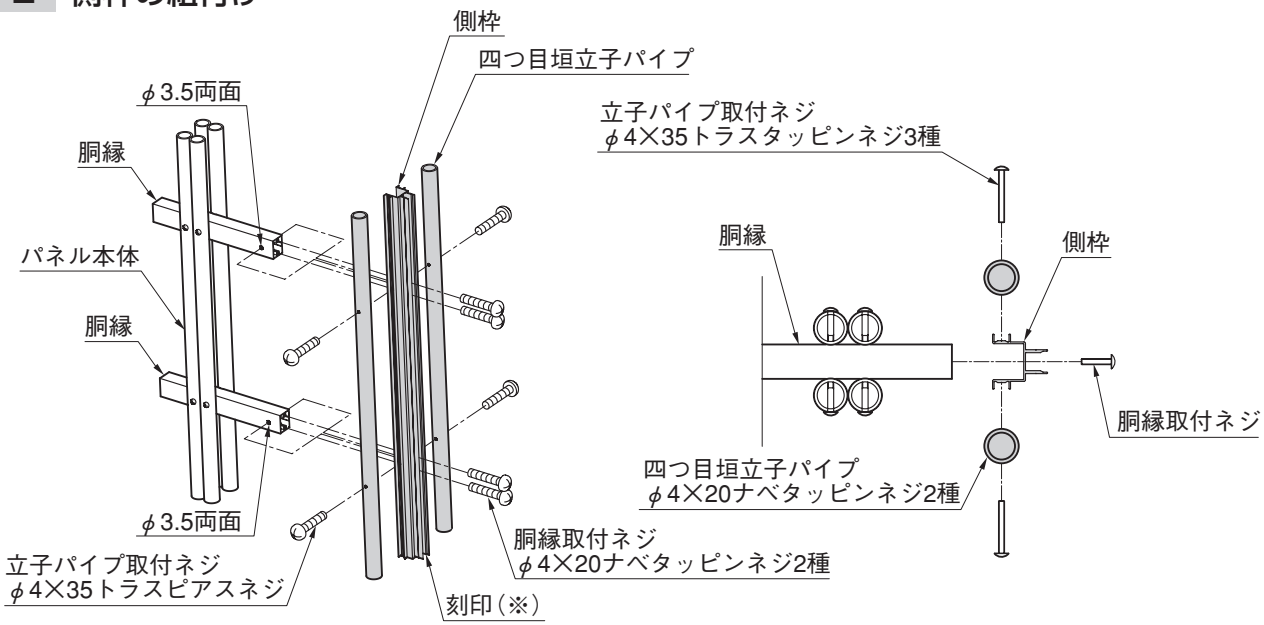



図2-2

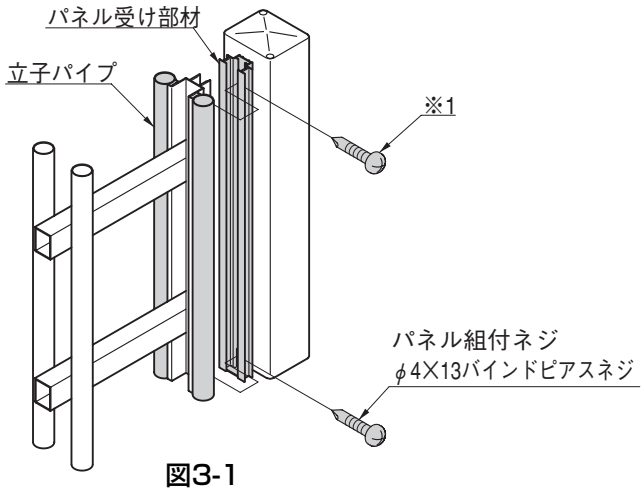
❶側枠の刻印（※）を下にして孔に合わせ、胴縁の両面にφ3.5の下孔加工をしてください。
❷側枠、立子パイプ、ネジをパネル本体切捨て側から取りはずし、図2-2を参照して組付けてください。

**注 意**

- 切断した端面はバリ取りなどの仕上げ処理を行ってください。指などが触れてケガをする原因になります。

# 3.パネルの組立て

## 3-1 T−6、T−9サイズの場合



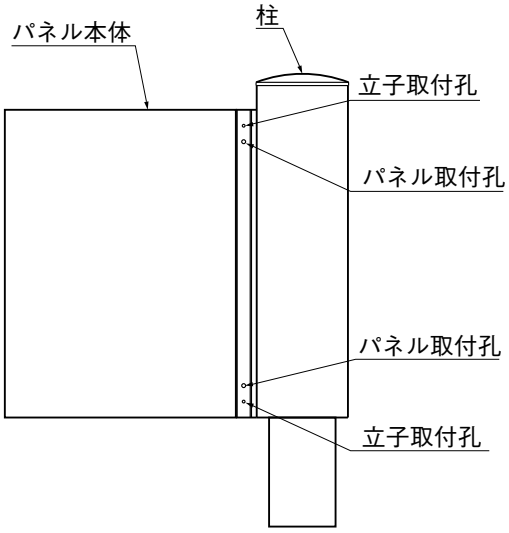




図3-1

❶パネル本体をパネル受け部材に差し込んで、「パネル組付ネジ」で固定してください。(※1)

**ポイント**

- 商品名シールでパネル本体の上下を確認してください。
- パネル本体はどちら側からも固定できるように、パネル受け部材の両側に孔加工されています。

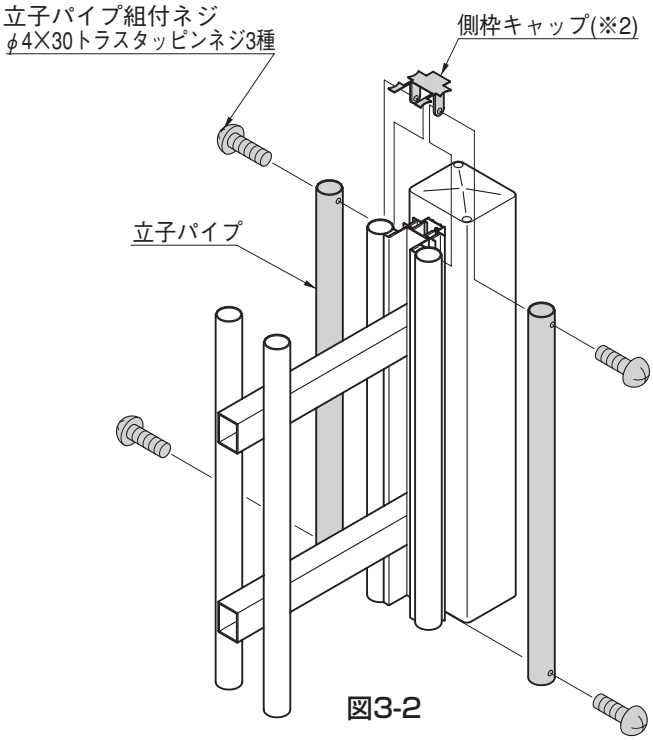
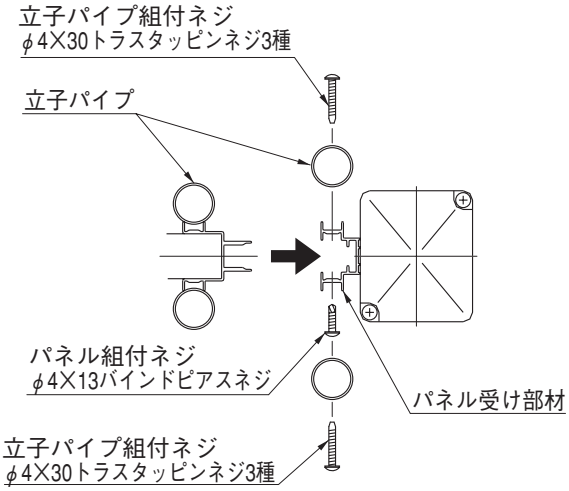
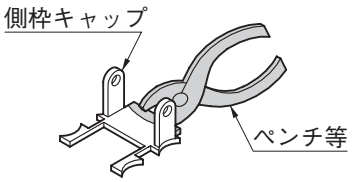



図3-2




❷立子パイプと側枠キャップを「立子パイプ組付ネジ」で固定してください。(図3-2参照)

**補 足**

- 側枠キャップ、ネジの梱包明細表は「京香 御簾垣・清水垣 ユニット型（C210）」の取付説明書を参照してください。
- 丸柱の場合は、ペンチ等でスリットの部分から切り取ってください。（※2）

# 3.つづき

## 3-2 T－12、T－15、T－18サイズの場合(T－6、T－9御簾垣パネルとの組合せ)

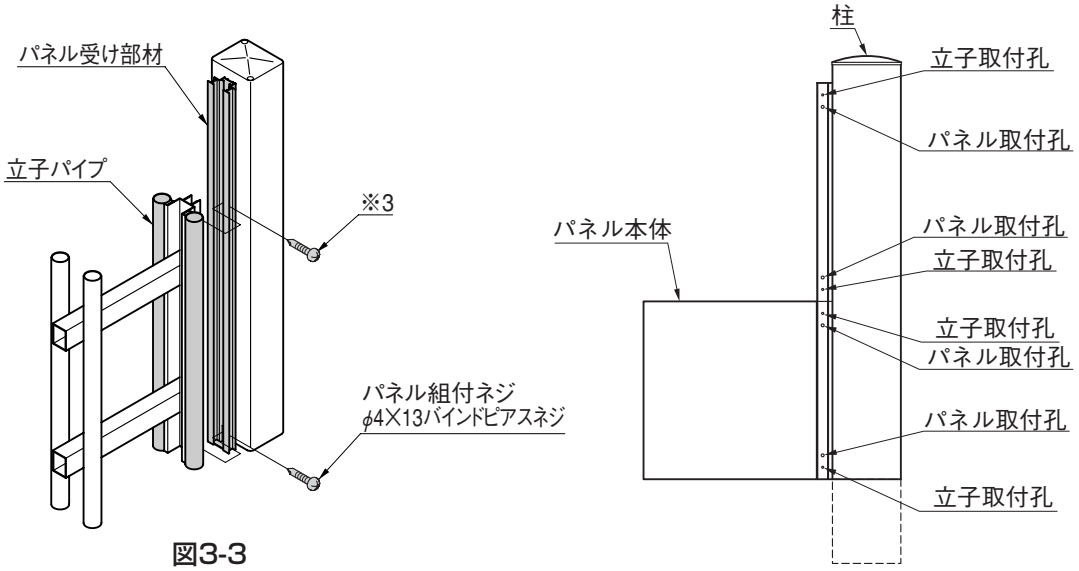



図3-3

❶パネル本体をパネル受け部材に差し込んで、「パネル組付ネジ」で固定してください。(図3-3参照)

**ポイント**

- 商品名シールでパネル本体の上下を確認してください。
- パネル本体はどちら側からも固定できるように、パネル受け部材の両側に孔加工されています。(※3)

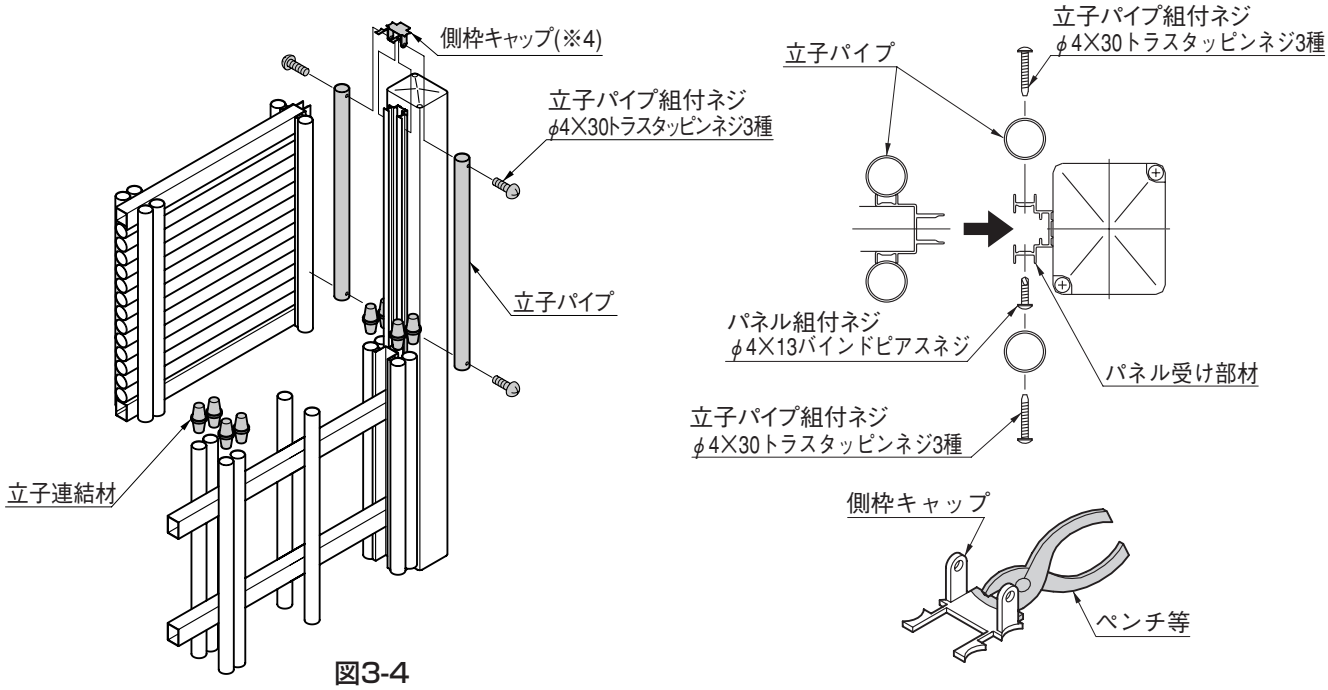


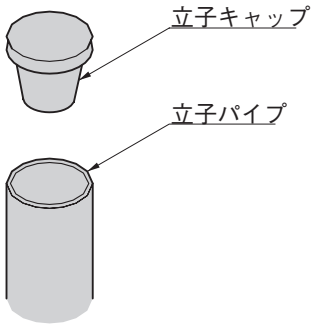

図3-4

❷立子パイプと側枠キャップを「立子パイプ組付ネジ」で固定してください。(図3-4参照)
❸下段パネルの立子パネルに立子連結材を差し込んで、上段パネルと連結してください。
❹上段パネル本体とパネル受け部材を「パネル組付ネジ」で固定してください。
❺立子パイプと側枠キャップを「立子パイプ組付ネジ」で固定してください。(※4)

**ポイント**

- 丸柱の場合は、ペンチ等でスリットの部分から切り取ってください。(※2)

## 4.立子キャップの取付け オプション



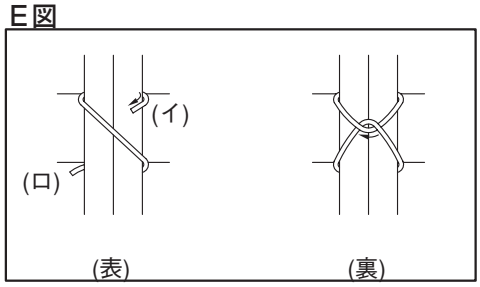

❶立子パイプに立子キャップを差し込んでください。

**ポイント**

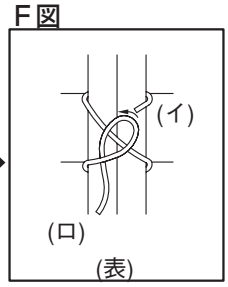
- 御簾垣との2段施工の場合は、上段の御簾垣パネルの立子パイプに取付けてください。

## 5.シュロ縄のしばり方 ※切詰め等により、シュロ縄のしばり直しが必要な場合の作業です。

E図



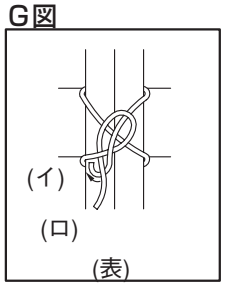

F図



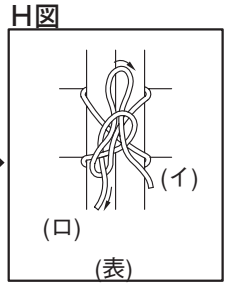

❶E図のように、縄を裏側で交差させてください。

❷F図のように、(口)の部分で輪を作りG図のように(イ)を通してください。

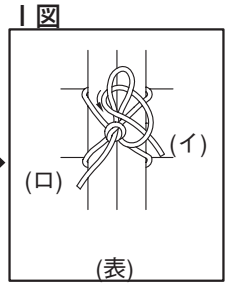
G図




H図



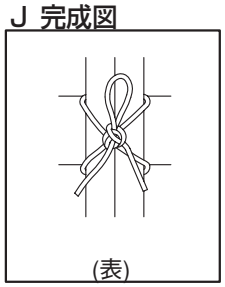

I図

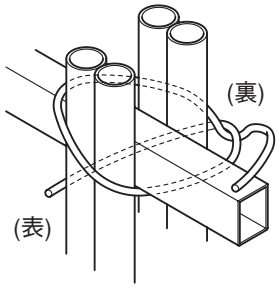


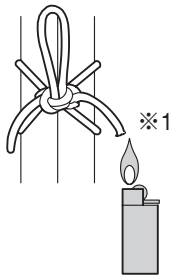

❸(イ)をもう一度H図のように輪の中に通して、(口)を引いてください。

❹I図のように、H図で作った輪に(イ)を巻き付けて、←方向に引いてください。これで完成です。

J 完成図




**注 意**

- シュロ縄は銅線に合わせて取付けてくだ さい。
  (裏側も同じ位置に取付けてください。)
- 縄をしばった後、先端をライター等でとかしてほどけないようにしてください。
  (とかしすぎに注意してください。)(※1)

取説コード
C244



BTP603420
199909A
200501B_1001